

● 東日本大震災から 3 年を迎えるに当たって

札幌市では、東日本大震災の被災者への継続的な支援を呼び掛けるため、3 月 10 日と 11 日の 2 日間、震災復興イベントと「札幌市東日本大震災被災者支援活動基金」の PR 活動を行います。

同基金による助成活動の紹介と募金の呼び掛けのほか、被災地産品を中心とした物販や、被災地の現状を伝える写真展などを実施します。

また、震災対策の充実強化や災害時の円滑な消防活動を目的に締結する、企業等との災害時における新たな取り組みに関する協定の調印式を行います。

1 震災復興イベントと札幌市東日本大震災被災者支援活動基金 PR 活動

(1) 趣旨

東日本大震災からの避難者および支援者がそれぞれの立場から 4 年目を迎える現状を伝えるとともに、市民や企業からの寄付を原資に助成している「さぼーとほっと基金（札幌市市民まちづくり活動促進基金）」の「テーマ基金」である「札幌市東日本大震災被災者支援活動基金」を通じた支援活動状況等を紹介し、今後の継続的な支援を広く市民に呼び掛ける。

(2) チ・カ・ホでの震災復興イベント

① イベント名

「4 年目の 3.11 ありがとうさっぽろ、そして… ～それぞれの東日本大震災」

② 概要

ア 日時：平成 26 年 3 月 10 日（月）12：00～20：00

3 月 11 日（火）10：00～19：00

イ 場所：チ・カ・ホ「北 4 条イベントスペース」

ウ 内容：

(ア) 札幌市東日本大震災被災者支援活動基金による助成活動の紹介と募金の呼び掛け

(イ) 被災者支援団体による物販

北海道ブックシェアリング（荒井 宏明代表）：リサイクル本

手仕事よりそい隊 結☆結（福田 結子代表）：被災地で作られた小物

(ウ) 「瓦 Re：きっとフォト」ワークショップ

被災地の「がれき※」を使った写真立ての工作を行う。

※ 現地で放射線量の検査を行い、安全を確認したものを使用。

— ワークショップ開催時刻 —

10 日（月）13:00～15:00

※このほか、希望があれば随時

11 日（火）13:00～14:00・15:30～17:00

※参加にはキット実費（750 円）が必要



(エ) ゆる・ほかプロジェクト

被災地で行っている健康棒を使用した身体のコリほぐしなど、心身共にリフレッシュする方法を紹介。

(オ) 被災地の今を伝える写真展

被災地で支援を続ける市民活動団体の方たちが平成 25 年春から冬にかけて撮影した写真で「被災地の今」を伝える。

(カ) 中学生約 1,200 人からのメッセージ

市内の中学生が出前授業の中で、救援活動に従事した消防職員や避難者の体験を聞き自他ともにかげがえのない命について学び、被災地・被災者へ向け想いを寄せたメッセージボードを展示。

[メッセージを記入した出前授業]

・2月4日(火) 北辰中学校(北区北18条西2丁目) 全学年 505人

・2月14日(金) 栄南中学校(東区北36条東16丁目) 全年生 495人

・2月28日(金) あいの里東中学校(北区あいの里2条7丁目) 1年生 197人

※その他、3月19日にも美香保中学校で同様の出前授業が開催される予定

(キ) 公益財団法人札幌市防災協会による東日本大震災の被害の状況などを伝えるパネルや防災グッズの展示

(3) 市役所1階ロビーでの「札幌市東日本大震災被災者支援活動基金」PR・募金活動

平成26年3月10日(月)・11日(火) 11:00~14:00

2 震災等災害時における協定調印式

東日本大震災の教訓を踏まえ、震災対策の充実強化や災害時の円滑な消防活動に資することを目的として新たに協定制度を設け、その第1号として北海道コカ・コーラボトリング株式会社(矢吹 健次=やぶき・たけつぐ=代表取締役)・札幌生コンクリート協同組合(岡本繁美理事長)・学校法人札幌大学(佐藤 俊夫理事長)・一般社団法人札幌消防交友会(志賀明代表理事)の4団体と協定を締結。併せて、消防音楽隊によるミニコンサートを開催。

(1) 日時:平成26年3月10日(月) 17:00~17:30

(2) 場所:チ・カ・ホ「北4条イベントスペース」

(3) 協定の内容(札幌市が災害時に各団体に行う協力要請)

① 北海道コカ・コーラボトリング株式会社:消火用水や飲料水の提供

② 札幌生コンクリート協同組合:コンクリートミキサー車を活用した消火用水の搬送

③ 学校法人札幌大学:全道・全国からの支援部隊の宿泊施設等の提供

④ 一般社団法人札幌消防交友会:会員から事前に支援協力員を選定し、消防署に避難した市民への対応や被害情報の収集等を行う

問い合わせ先

(震災復興イベントと札幌市東日本大震災被災者支援活動基金PR活動について)

市民まちづくり局市民自治推進室市民自治推進課(市民活動促進担当) 成澤・望月・廣川
電話:211-2964

(震災等災害時における協定調印式について)

消防局警防部消防救助課 佐藤・池内
電話:215-2060

3 市民主体の震災復興イベント

※ 計画中のものや申し込みが必要な事業などもあるため、詳細は各団体にお問い合わせください。

イベント名	日時	場所	内容	問合せ先
北海道広域避難 これからフォー ラム in 札幌	3月11日(火) 14:30~20:20	札幌エルプラザ 3階 「大ホール」(中央区北 8西3)	・フォーラム(被災地や避 難先で復興、自立に向け努 力している方のお話) ・映画「先祖になる」上映	北海道広域避難アシス ト協議会(あったかい 道・みちのく会) 電話:011-826-4098
むすびば3年間の 軌跡(パネル展)	3月2日(日) ~16日(日) 平日9:00~22:00 なお、 2日は12:00から 16日は18:00まで	札幌エルプラザ 2階 「エレベーターホー ル」(中央区北8西3)	震災直後からの活動を振り 返し感謝とエールを送るパ ネル展	NPO みみをすますプロジ ェクト 電話:090-3390-9946

さぼーとほっと基金（札幌市東日本大震災被災者支援活動基金）による被災者支援

1 これまでの経緯

(1) 平成 23 年 4 月

「さぼーとほっと基金」のテーマの 1 つとして、「被災者を支援する市民まちづくり活動」を設定。

(2) 平成 24 年 5 月

「さぼーとほっと基金」の仕組みを活用して、寄付および助成の目的を分かりやすく提示できる「テーマ基金」制度を新設し、その第 1 号として、「札幌市東日本大震災被災者支援活動基金」を設置。

(3) 平成 24 年 9 月

国内のみならず海外から広く寄付を集めるため、「さぼーとほっと基金を支える会」名義でドイツ銀行に専用口座を開設。

2 寄付・助成状況

ア 寄付状況（平成 26 年 1 月 31 日時点）

	寄付件数	寄付額
平成 23 年度	88 件	38,867,471 円
平成 24 年度	86 件	7,636,520 円
平成 25 年度	76 件	5,584,602 円
合計	250 件	52,088,593 円

※その他、海外からの寄付 749 人分 1,471,454 円（11,055.93 ユーロ）あり

イ 助成状況（平成 26 年 1 月 31 日時点）

	被災地活動型		市内活動型		合計	
	件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額
平成 23 年度	5 件	4,500,000 円	9 件	4,965,000 円	14 件	9,465,000 円
平成 24 年度	4 件	5,087,000 円	11 件	7,351,000 円	15 件	12,438,000 円
平成 25 年度	6 件	5,500,000 円	6 件	4,000,000 円	12 件	9,500,000 円
合計	15 件	15,087,000 円	26 件	16,316,000 円	41 件	31,403,000 円

<参考>

① 被災地活動型の支援の例

- ・ 収集・選別した古書の提供や、陸前高田市への図書館の寄贈など、被災地図書館を整備支援。
- ・ 被災地や市内団体と連携し、個人ボランティアを組織化して派遣。
- ・ 被災地医療機関への医師派遣や、医師による訪問健康相談の実施。 など

② 市内活動型の支援の例

- ・ 札幌市に避難してきた被災者を対象に、生活情報の発信や相談窓口の設置、就職希望者のマッチングなどを実施。
- ・ 夏休みなどに被災地の子どもを招き、サマーキャンプや冬の北海道体験プログラムなどを実施。 など

問い合わせ先

市民まちづくり局市民自治推進室市民自治推進課（市民活動促進担当） 成澤・望月

電話：211-2964